

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあいでは、自治会に加入し回覧版で地域の出来事や行事を把握している。事業所の行事はたくさんあるが地域の参加はない。	行事の一つでもいいので、地域に声をかけて参加を促し、地域とのつながりを作ることに取り組んでいく。	・事業所自体が地域の一員として地域の行事等に参加するとともに、事業所近隣の皆さんに対して事業所内で開催しているイベント等を案内し、交流が図れるよう取り組んでいく。	12ヶ月
2	6	3か月に1回の身体拘束等適正化委員会には管理者、リーダー、計画作成担当者、委員会担当者が参加し身体拘束に関して話し合っている。今回は介護着について話し合い、1名のみ夜だけ着用し、様子を見ることになる。家族には承諾を得ている。介護着に関しては着る時間を短くする等、職員と話し合っていく。	介護着着用の弊害を職員間で話し合い、支援のあり方について検討する。	・委員会や職員研修会、ケアカンファレンス等を通じて、身体拘束がもたらす多くの弊害を職員間で共有する。 ・介護着に関しては、最終的には着用しないケアを目指し、着る時間を短くするなど段階的に取り組む。	6ヶ月
3	26	介護計画は基本的に計画作成担当者が作成しており。モニタリングは3か月に1回職員が計画作成担当者に報告している。個人の記録では水分摂取量や睡眠の状況等の記録のみで、本人の思いが掴みにくい。	個人の記録に本人の意向を反映するために、日々の記録の重要性を考えて記録の方法等検討し、一人ひとりの望むことの把握に努める。	・職員間で日々の記録を共有するため、職員間での申し送りや経過記録が周知できるケア記録アプリを導入し、情報の共有化を図る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。